

学習課題

こまった！



状況を理解する

四条さんは、彼氏とどうしてもめてしまったのだろうか。

日常

・デート中に異性からのメールを受信

きっかけ

・携帯を見せろと要求されるが拒否

危機

・彼氏からの暴力が始まる

1. 次の漫画を読んで状況を理解しよう。

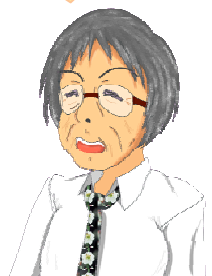
好きな人のためにはガマンするしかないのかな？



四条さんの彼氏はヤキモチをやいているのかな。



四条さんは彼氏のいいなりになってるみたいだねえ。



2. 危機的状況をまとめよう。

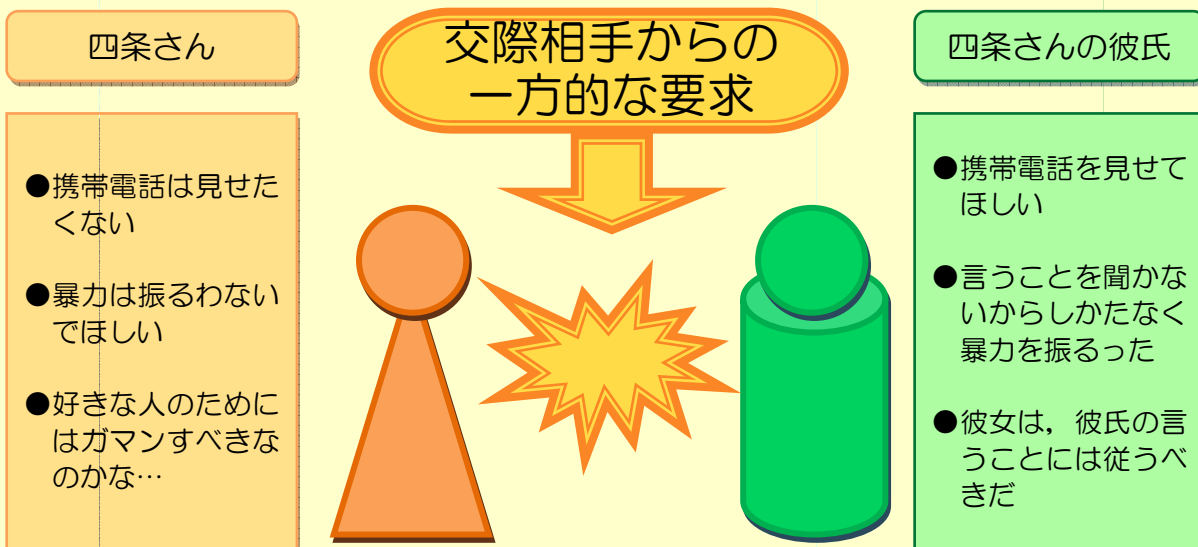
ある日のデート中、四条さんの携帯電話に一通のメールが届きました。そのメールは四条さんと同じクラスの男の子からのものでした。四条さんの彼氏は、四条さんが自分以外の異性とメールのやりとりをしていることを知ると、怒り、四条さんに①_____を要求しました。

納得できなかった四条さんは、「②_____。」と彼氏に伝えました。すると彼氏は「③_____なんだから言うことを聞けよ！」と言い、四条さんに④_____を振るいました。殴られたせいで怖くなった四条さんは、しかたなく彼氏に携帯電話を見せました。彼氏は「言うことを聞けば⑤_____のに」と言っています。

それを聞いた四条さんは、好きな人のためにはガマンするしかないのかな…と考え込んでしまいました。

3. 危機的状況を整理しよう。

四条さんと彼氏の対立



I 用語の意味を調べよう

II 危機の今後を予想しよう

III 私の最初のアドバイス

1. 次の用語の意味を調べよう。

暴力

2. 四条さんは暴力が怖くて彼氏に従ってしまいました。四条さんはこれからも、彼氏の要求を受け入れるしかないのだろうか。予想してみよう。

3. 上の話を聞いて、あなたなら四条さんにどういう言葉をかけますか。

●四条さんへ一言「 _____
_____。」

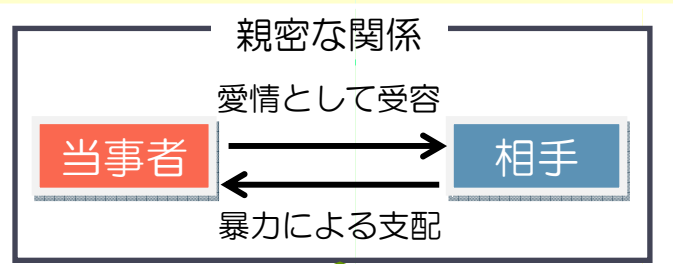


学習課題

なんでこんなことに？

状況を分析する

なぜ恋人同士で、暴力が起きてしまうのだろうか。



DV神話を作り出す思い込み

暴力の容認

ジェンダー・バイアス

A

暴力の容認とジェンダー

夫婦や恋人などの親密な関係にある者から振るわれる暴力のことをドメスティック・バイオレンス（DV）といいます。とくに、結婚していない恋人からの暴力は、デートDVとよばれます。DVの背景には、「力で人を支配してもよい」という暴力を容認する考え方があります。相手が間違っている場合や愛情がある場合には暴力は許されるとの思い込みが、DVを生んでいるのです。

また、私たちの社会には、「男なら強くあるべき」「女なら男に従うべき」という男らしさ・女らしさに関する価値観（ジェンダー・バイアス）も存在します。

B

DV神話

これら暴力やジェンダーに関する見方が絡みあって、「DVは当事者間で解決すべき問題」「暴力を振るわれる方にも悪いところがある」といった誤解が生じています。このような誤解はDV神話とよばれています。DV神話は被害者をより周囲から孤立させ、問題を深刻化させる原因ともなっています。

C

関係を断つおずかしさ

DVで悩んでいるなら、早く別れてしまえばいいと思う人もいるでしょう。しかし、被害者自身が「自分がガマンすればよい」「愛されているから暴力を振るわれている」と思い込んで別れることができない場合や、暴力を恐れて別れを切り出せない場合も少なくありません。

被害者が相手を特別な存在と考えているほど、相手に反論できず、相手の言動を受け入れてしまい、暴力がくり返され、それがエスカレートしていくとの報告もあります。このように関係を断ち切ることの難しさも、暴力による支配の関係を持続させています。



▼資料① デートDVにおける暴力の例

▼資料② ジェンダー・バイアスの例

身体的暴力	殴る 蹴る 物を投げつける
精神的暴力	大声で怒鳴る 人前で侮辱する 電話の内容をチェックする
経済的暴力	借りたお金を返さない 外で働くことを妨害する
性的暴力	意思に反した性行為の強要 避妊に協力しない
社会的暴力	人付き合いを制限して相手を 独占しようとする

「男らしさ」	「女らしさ」
苦しくても弱音を吐かない 権力をもつ 助けを求めない 女性に対して強くあるべき	守られる 受動的 頼る 男性に対して従順であるべき

▼資料③ デートDVの被害経験

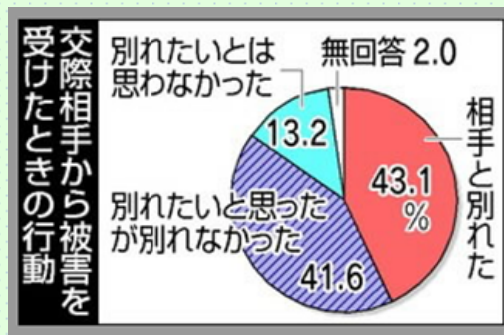
交際相手からのDV経験			
全体（1949人）	10.1	89	0.9
女性（1064人）	13.7	85.3	0.9
男性（885人）	5.8	93.4	0.8

■ あった ■ なかった ■ 無回答

▼資料⑤ デートDVチェックリスト

- 恋人が…
- いつも一緒にいることを要求する
 - ほかの人と仲良くすることを許さない
 - メールの返事をすぐに返さないと怒る
 - メールの内容をチェックする
 - 突然怒り出す
 - 殴ったり、蹴ったり、髪の毛を引っ張ったりする
 - 別れ話になると「自殺する」と脅す
- ※1 つでもチェックがついたらデートDVの可能性がります。

▼資料④ 交際相手から初めて被害を受けたとき、被害者はどうしたか



I 用語の意味を調べよう

II 理由を整理・分析しよう



資料③を見ると、被害者が女性だけではないことがわかるね。

III 漫画を説明しよう

1. 次の用語の意味を調べよう。
ドメスティック・バイオレンス, デートDV, ジェンダー・バイアス, 神話

2. 資料①～④からわかることを、以下の表にまとめよう。

資料①	資料②	資料③・資料④
デートDVには、「殴る」「蹴る」などの____的暴力だけでなく、「人前で侮辱する」などの____的暴力も含まれる。	男性は女性に対して____あるべきであり、女性は男性に対して____であるべきというジェンダー・バイアスがある。	被害経験があったと答えた人は全体の____%。被害を受けて相手と別れた人は約____%。被害者の半数以上が相手と____いない。

3. 四条さんの立場になって、資料⑤のチェックリストをチェックしてみよう。

4. 四条さんと彼氏との間には、①どのような種類の暴力が見られたか。②その背景にはどのような思い込みが予想されるか。学習したことを活用して説明してみよう。

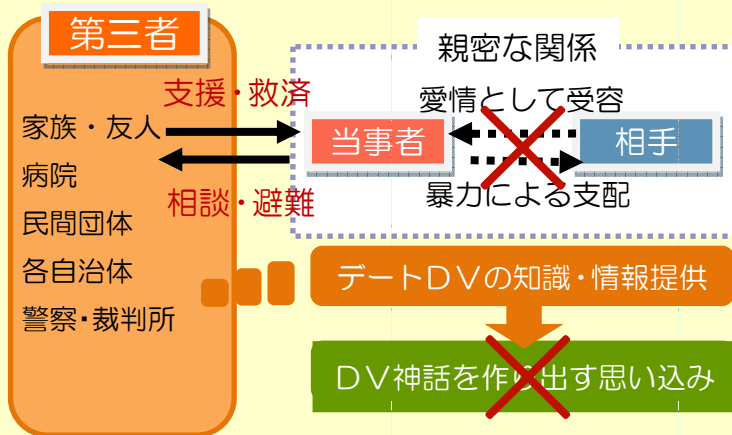


学習課題

どうすれば？

状況下で行動する

デートDVの被害を受けた場合、どうしたらいいのだろうか。



A

私にできること

キーワード： DV防止法

2001年に施行されたDVにかかわる通報・相談・保護・自立支援などの体制を整え、DV防止と被害者保護を目的とした法律。

恋人同士のような親密な関係の実態は、当事者だけが知っており、外からうかがい知ることはできません。この閉鎖的な特質が、デートDVの被害者を孤立させ、問題を深刻化させます。

したがって被害者は、交際相手以外の第三者に支援を求めることが重要になります。家族や友人などに頼る方法もありますが、緊急の場合には近くの交番や病院に駆け込んだり、110番通報することも考えられます。民間団体が運営している被害者の保護施設（民間シェルター）を利用することもできます。

被害者の相談相手として最も選ばれやすいのは、友人です。友人から相談された場合には話を聞き、はっきりと「暴力は間違っている」と伝えることが必要です。友人に相談するだけでなく、信頼できる大人や上述のような機関に相談することを勧めてもいいでしょう。

B

社会にできること

デートDV防止へ冊子
■静岡県 交際の男女
間で発生する暴力「デート
DV」を防止するため、高
校生・大学生向けのパンフ
レットを1万部作成した。

DV防止法は、夫婦間暴力の被害者の保護を定めています。裁判所は、被害者への接近禁止や住居からの退去を命じることができます。同居している交際相手からの暴力も、保護の対象です。しかし、結婚していない、同居もしていない交際相手からの暴力は、保護対象とはなっていません。

デートDVは、新しい概念です。そのためデートDVの関係であることに気づいていない加害者や被害者も少なくありません。そのため自治体や民間団体は、デートDVについての知識や情報を提供する活動を展開しています。

▲自治体の広報の活動例

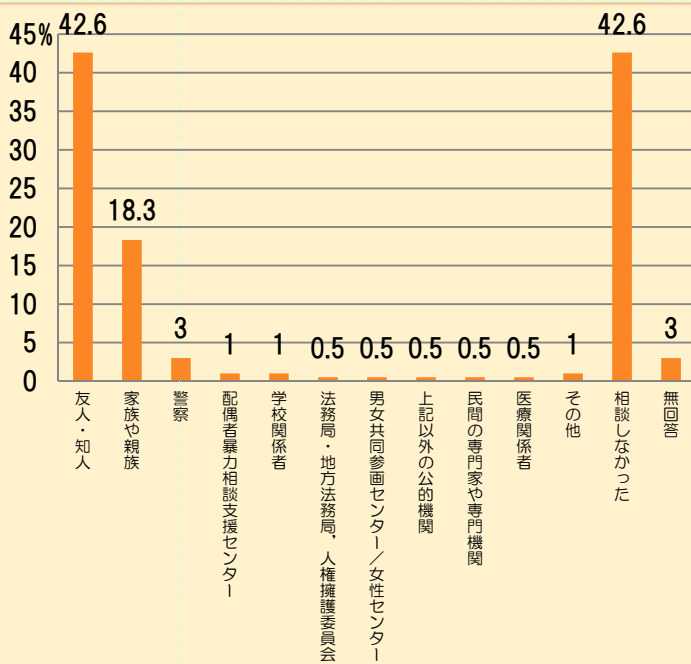




下のグラフを見て、どんなことが分かるかな。



▼資料② 交際相手からの被害の相談先



迷惑メールを繰り返し送る行為を「つきまとい行為」の対象に加える改正ストーカー規制法と、同居中の交際相手による暴力からの保護を図る改正ドメスティックバイオレンス(DV)防止法が二十六日午後の衆院本会議で可決、成立した。

改正DV防止法は、配偶者や元配偶者だけでなく、同居中の交際相手からの暴力と被害者を対象とした。加害者の接近禁止などの保護命令を裁判所に申し立てることができるようになる。

改正DV防止法は同居する恋人間の暴力も保護命令などの適用対象にした。同居が条件とはいえ、「デートDV」と呼ばれる恋人間の暴力に苦しむ被害者を支援している民間シェルターなどが長年、要望してきた。

DV防止法

- 同居する交際相手からの暴力にも準用し、保護対象を拡大
- 同居期間は問わず、同居解消後に引き続き暴力を受けた人も対象に

I 用語の意味を調べよう

1. 次の用語の意味を調べよう。
親密, DV防止法, 配偶者, 民間シェルター, 接近禁止命令

II 制度のあり方を評価しよう

2. DV防止法をめぐっては多様な意見があります。吹き出しを埋めて、人々の意見を完成させよう。



行政や警察は、.....同士というプライベートな関係に深く立ち入るべきでない。だから、保護の対象を.....したことには反対だよ。

行政や警察は、被害者の人権を守るために、もっと積極的に.....を規制したほうがよい。だから、保護の対象を一部の人に.....していることには反対だよ。



III 私の最終提案

3. DVで悩む四条さんに、友人になったつもりでアドバイスの手紙を書いてみよう。その際、「あなたの受けている○○は□□です。だからあなたは～したほうがいいです」という形式をとること。

